

第95期 営業の中間ご報告

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで

ミニディスクロージャー誌

地域を興し、ともに成長・発展する銀行



九州国立
博物館



当行キャラクター
チカッパ



あなたのまちの
筑邦銀行

目次

ごあいさつ	1
経営方針	2
ちくぎんトピックス	3
お客さま満足度向上への取組み	5
地域創生への取組み	7
働き方改革・ダイバーシティ推進への取組み	8
ちくぎんの総合力	9
お客さまへの大切なお知らせ	11
CSR	13
株主の皆さまへ	14
業績ハイライト	15
財務のご報告(単体)	18

筑邦銀行のプロフィール

設立	昭和27年12月23日
総資産	7,947億円
預金・譲渡性預金	7,064億円
貸出金	4,838億円
資本金	80億円
株主数	2,765名
従業員数	599名
店舗数	44か店 ^(注)

(注) 店舗内店舗形式は8か店
平成30年9月30日現在

ごあいさつ

「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。このたび、平成30年9月期ミニディスクロージャー誌を作成いたしました。期中の業績をはじめ、トピックスなどをまとめておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

当中間期のわが国経済は、政府の経済対策などから企業収益や雇用情勢が改善し、緩やかな回復の動きが続きました。また、海外経済も好調な米国経済を反映して総じて緩やかな回復が続きました。

金融情勢については、欧・米の中央銀行が金融緩和政策の出口へと向かう一方、国内では日本銀行による超低金利政策が継続されました。米国トランプ政権の保護主義的な通商政策などの政策運営、新興国・欧州周縁国の債務など種々の不安定要因が意識され、金融・為替市場では先行きに対する不透明感が続きました。

こうした経営環境の中、平成30年4月より3か年の「中期経営計画2018」をスタートさせました。前中期経営計画で掲げてきた「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」というスローガンを継承し、その実現のための基本方針を、「お客さま本位の徹底」、「地域創生への貢献」、「強靱な経営基盤の構築」としております。

常にどうすれば地元経済の活性化に貢献できるかを第一に考え、地元企業、地方公共団体、大学等とともに、銀行が主体的に企画段階から構想に関わり、コンサルティング機能を発揮してまいります。また、自前での対応が難しい分野についても、当行グループ内での連携強化はもちろん、ネット証券やフィンテック企業とのアライアンスを通じた付加価値の高い金融サービスの提供に取り組んでまいります。

当行は今後も、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地銀そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成30年12月

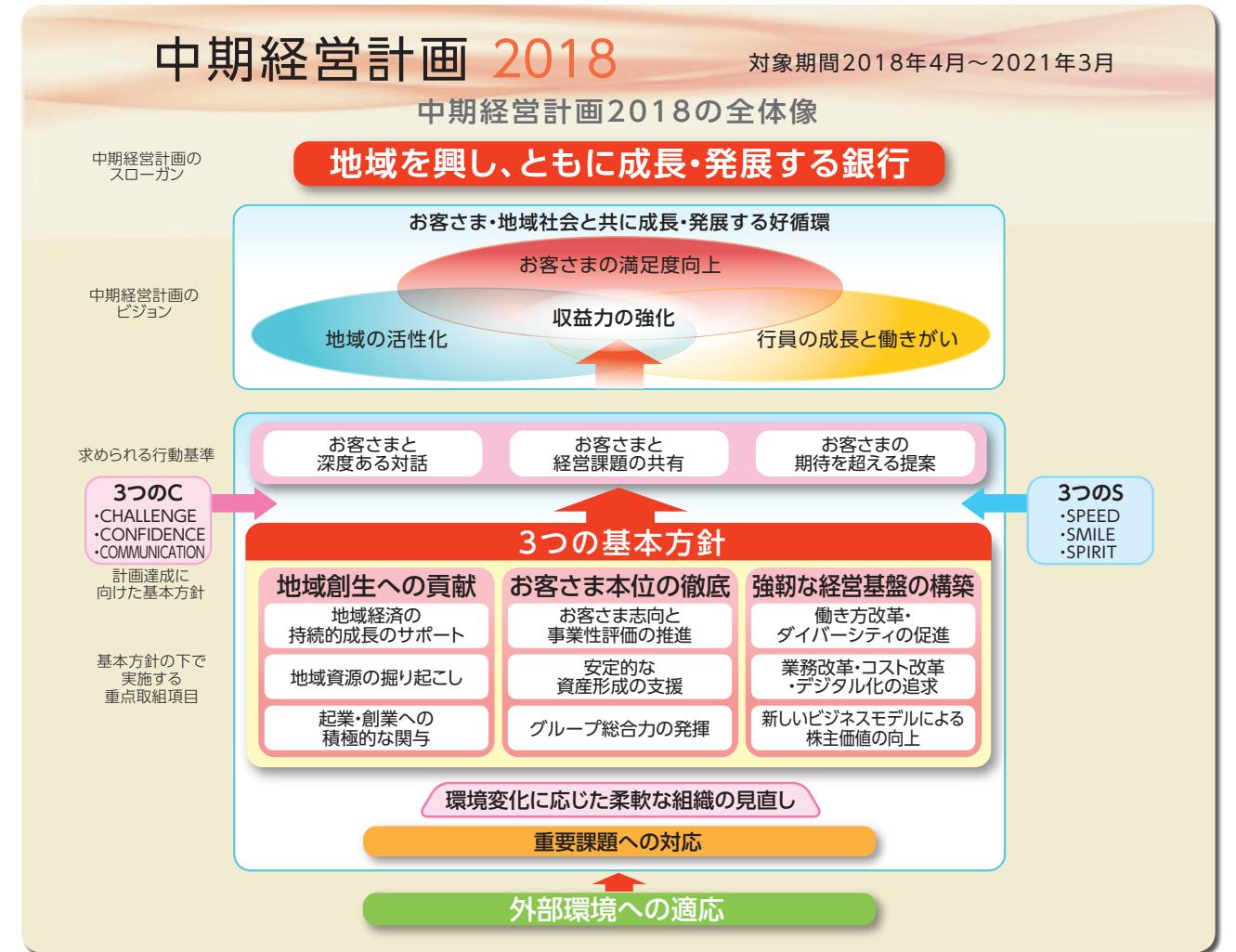


頭取 佐藤 清一郎

経営方針

基本理念「地域社会へのご奉仕」

当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。



- 「中期経営計画2018」スタート
- デジタル戦略室新設
- (株)ちくぎんテクノシステムズ事業開始
- キャリア・リターン制度導入
- フィンテックセミナー開催
- 第26回ちくぎん杯少年サッカー大会
- 「ちくぎんプラザ久留米」開設
- SBI地方創生アセットマネジメント(株)へ出資
- 第3回ぐるめ楽衆国まつり ▶P.13

- 「筑邦銀行SBIマネープラザ久留米」開設 ▶P.6
- 第四回日本商品大連地区巡回展 ▶P.9
- 都心部道路美化キャンペーン ▶P.13
- 第10回久留米まちゼミ ▶P.13
- タブレット端末による投資信託受注開始

平成30年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

- 第57回博多どんたく港まつり ▶P.13
- 警弥郷支店を中尾支店内へ移転 (警弥郷支店のATMコーナーは「博多南出張所」として近隣のビル内で営業中)
- バックオフィスセンター (BOC) 設置
- ニセ電話気づかせ隊団体表彰式



● 食の商談会開催

佐賀銀行、十八銀行と3行で構成する「北部九州ビジネスマッチング協議会」主催による「食の商談会」を開催いたしました。本商談会は、業務用食材を取扱う地域事業者と首都圏及び地方の百貨店・ホテル・飲食店等のバイヤーとの商談機会を創出することで、お客さまの販路開拓・拡大支援を目的としています。74社が参加し、熱心な商談が行われました。



● 久留米市女性活躍促進セミナー ▶P.8

- 福岡県信用保証協会より表彰 (本店営業部、甘木支店)
- ちくぎんグループお客さま懇談会 (7月に2会場、8月に1会場で開催)
- 「平成30年7月豪雨」災害特別融資の取扱開始 (平成30年12月まで)

● 第十回大連日本商品展覧会 ▶P.10

● 第3期ちくぎん未来創造経営塾 開講

次世代のビジネスリーダーに必要な経営者としてのスキルやノウハウを体系的に学びます。(25名参加、全6回)



- ちくごバイヤービジネスマッチング会 (求評会)
- Dr. プンブン

● 筑邦銀行カードローンPR!!

筑邦銀行カードローンPRの一環として、営業店ロビーにてPR動画の放映を開始いたしました。またYouTubeにおいても、公式アカウントを取得し、PR動画の配信を開始いたしました。

- 投資信託販売支援ツール「投資信託INDEX」導入 ▶P.6
- うきは市と包括連携協定締結 ▶P.7
- 制服をリニューアル ▶P.8
- RPA試験導入スタート ▶P.8
- ベトナム食品輸出セミナー ▶P.10
- 各種手数料の一部改定および新設 ▶P.11
- 「全銀システムの稼働時間拡大」に伴う対象サービスの拡大 ▶P.12
- 第14回久留米まち旅博覧会 ▶P.13
- 筑後川河川美化ノーポイ運動 ▶P.13
- 地方銀行フードセレクション2018



「ちくぎんアプリ」

はじめました! 平成30年8月

スマートフォン向けアプリ「ちくぎんアプリ」の取扱を開始いたしました。「ちくぎんアプリ」では、24時間、印鑑不要でスマートフォンの手続きのみで普通預金口座（Web口座）を開設いただけます。「ちくぎんアプリ」をダウンロードし、運転免許証をスマートフォンのカメラで撮影することで、名前や住所等の情報を自動で読み込みます。入力の手間がかからず、簡単にお手続きすることができます。

概要

- アプリで開設した口座（Web口座）は、「インターネットバンキングサービス」および「ちくぎんポイントサービス」が自動セットされます。
- Web口座は通帳を発行せず、キャッシュカードのみの発行となります。
- Web口座はご印鑑の登録、本人確認資料の送付は不要です。

※お申込みいただける方は以下のすべての項目に該当するお客さまになります。

- ▶ 福岡県・佐賀県（鳥栖市周辺）・大分県（日田市周辺）、熊本県（荒尾市周辺）・山口県（下関市周辺）内にお住まいで、17歳以上の個人のお客さま
- ▶ 運転免許証による本人確認が出来るお客さま
- ▶ 既に当行にWeb口座をお持ちでないお客さま



「筑邦銀行SBIマネープラザ久留米」

運営開始 平成30年6月

九州地区で初!!

株式会社SBI証券の子会社であるSBIマネープラザ株式会社（以下、SBIマネープラザ）と地域金融機関としては九州地区で初、国内でも2番目の共同店舗「筑邦銀行SBIマネープラザ久留米」（同年4月に開設した「ちくぎんプラザ久留米」に併設）の運営を開始いたしました。当行が培ってきた地域の産業や生活に密着した営業活動とSBIマネープラザの営業活動のノウハウを融合し、お客さま一人ひとりに合った質の高いアドバイスや金融商品・サービスの提供を行ってまいります。



久留米市長（中央）も列席してのオープニングセレモニー



SBIマネープラザ社員3名と当行行員1名で業務を行っております

投資信託販売支援ツール「投資信託INDEX」を導入 平成30年10月

営業力強化の一環として、現在営業活動で使用中のタブレット端末に、モーニングスター株式会社の投資信託販売支援ツール「投資信託INDEX」を導入いたしました。投資信託やライフプラン、相続、マーケット情報等をお客さまへよりわかりやすく説明することができます。このようなツールを利用し、今後もお客さま満足度向上を図ってまいります。



地域創生への取組み



うきは市と包括連携協定を締結

平成30年10月

当行とうきは市は相互に連携協力し、うきは市の地方創生、地域の活性化に向けたまちづくりに寄与することを目的として包括連携協定を締結いたしました。

連携協力項目

- ① 地域の産業振興、中小企業等への支援に関する事
- ② 創業支援に関する事
- ③ 地元就職の促進、企業の人材確保に関する事
- ④ 移住・定住希望者に対する支援に関する事
- ⑤ その他、うきは市の地方創生、地域の活性化に資する取組みに関する事

締結式後には、「うきは応援団!! 企業パートナー」の認定式が行われました。うきは市、登録企業、大学、団体等が「うきはのファン」層を拡大するため相互に連携した取組みを行います。



うきは市にて協定締結式

婚活支援で地域を活性化!



「JUNOALL(ジュノール)」設立準備会 開催

平成30年8月

「JUNOALL(ジュノール)」は、日本の少子高齢化問題を解決し、地域活性化にも貢献することを目的に立ち上げられた婚活支援組織です。この取組みを福岡県南地域でも行うべく、当行も支援しており、「NPO法人ちくご出会いサポートセンター JUNOALL 設立準備会」が開催されました。



設立準備会

JUNOALLの特徴

- 行政や地元企業と連携した非営利目的の団体
- ITを活用した独自のマッチングシステムで高い成婚率
- 低廉な料金でサービスを提供

働き方改革・ダイバーシティ推進への取組み



久留米市女性活躍促進セミナー

平成30年7月

久留米市、久留米市雇用・就労推進協議会主催による、「久留米市女性活躍促進セミナー」にパネリストとして参加いたしました。「女性の意識改革とキャリアデザインの推進」にポイントを置き、当行の取組みや方針、今後の計画等を発表いたしました。



6年ぶり!

制服をリニューアル



平成30年10月より、冬服制服のリニューアルを行いました。リニューアルにあたっては、デザイン及び素材について全行員に事前アンケートを行い決定いたしました。

コンセプト

「中期経営計画2018」に掲げている「地域社会・お客さまと共に成長・発展する好循環」のビジョンのもと「お客さまと接する行員の笑顔を作るユニフォーム」をコンセプトに、動きやすさ、ケアのしやすさ、審美性にこだわりました。働く女性の笑顔にふれたお客さまに安心感が生まれ、信頼と期待からまた笑顔が生まれる。そんな好循環を発揮する制服です。

アイテム

役員者はジャケット・ブラウス・スカートの組み合わせ、一般行員はジャケット・ベスト・ブラウス・スカート・リボンの組み合わせです。

一般行員

グレーの無地のジャケット・スカートにうす紫のブラウスでやさしい印象を与えます。スカートはAラインで動きやすさを重視しつつエレガントに仕上げられています。また、リボンはちくごんカラーを全面に出した親しみやすいチェック柄で、片方の隅にCマークを入れています。



Cマーク入りリボン



RPA試験導入スタート

RPAは、「Robotic Process Automation」の略で、ロボット(ソフトウェア)による業務の自動化・効率化のことです。ロボットは ① 自動データ処理 ② WEBサイトから情報取得 ③ メールの自動配信 といった作業を得意としています。平成30年10月より、本部業務の一部に試験導入しており、今後もRPAを活用し、仕事の効率化を図ってまいります。

ちくぎんの総合力 ~海外展開支援~

ベトナムが **アツい!!!**

「2018年ベトナムICTネットワークングin Fukuoka」開催

ちくぎん地域経済研究所 主催、アジア福岡パートナーズ 共催、筑邦銀行 後援

平成30年8月



熱心な商談が行われました

ベトナム国ホーチミン市よりQTSC（ベトナム最大のソフトウェア工業団地）及びVNITO（ベトナムITアウトソーシング アライアンス）一行を迎え、「2018年ベトナムICTネットワークングin Fukuoka」を開催いたしました。

本商談会では、お客さまの海外展開支援、外注による開発コスト削減や受注機会の創出を目的としベトナムのIT企業14社と福岡の地元企業16社とのビジネスマッチングを行いました。

ベトナム食品輸出セミナー後援

平成30年10月

ジェトロ・ハノイ事務所駐在員による「ベトナム向けの日本産食品輸出の可能性」についてのセミナーおよび個別相談会の後援をいたしました。ベトナムは安定的な経済成長が見込まれており、中高所得者層の拡大が予測されています。また安全な食品への関心も高まっており、日本産食品の輸出拡大も期待されています。

セミナーでは、最近のベトナムにおける日本産食品の普及状況や今後の可能性などについて講演がありました。



ベトナム食品輸出セミナー

大連にて巡回展、展覧会に参加

第四回日本商品大連地区巡回展

平成30年6月

日本商品の展示即売会である「第四回日本商品大連地区巡回展」に、当行、ちくぎん地域経済研究所、アジア福岡パートナーズの関係から7社に出展いただき、現地にて支援を行いました。この展示即売会は、大連市西崗区のオリンピック広場にて行われ、本年は全体で過去最高の出展数となっております。



多くの来場者に興味を持っていただきました

第十回大連日本商品展覧会

平成30年9月

中国国際貿易促進委員会と大連市人民政府が主催する公式な展覧会「第十回大連日本商品展覧会」が大連世界博覧広場にて開催されました。当行およびちくぎん地域経済研究所関係から4社に出展いただき、中国市場での自社製品の評価に手ごたえを感じられました。



過去最高の出展数と来場者になりました

ちょこっとメモ

当行業務提携先 「アジア福岡パートナーズ (AFP)」 NEWチラシ

アジア福岡パートナーズの新しいチラシが完成しました。会社概要、中国・東南アジアでの支援内容等をご紹介します。



■ お客さまへの大切なお知らせ

① 法人インターネットバンキングサービスおよびインターネット・モバイルバンキングサービスのご利用時間を延長 (平成30年8月) ☐ ※赤字部分が延長箇所

<法人インターネットバンキングサービス (法人IB)>

サービスの種類		平日	休日
残高照会、取引照会		1:00~23:00	
振込振替	当日扱い	他行宛 (注1) 01:00~15:00 自行宛 (注2) 01:00~21:00	
	予約扱い	01:00~23:00	
税金・各種料金払込		07:00~21:00	
データ伝送サービス		24時間	
でんさいネットサービス		08:00~23:00	08:00~19:00

(注1) 平日1:00~8:30に受付した他行宛振込は、同日8:30より他行へ発信いたします。

(注2) 支払または受取口座が当座預金の場合、15:00までお取扱いたします。

●システムメンテナンスのためサービスを停止することがあります。

<インターネット・モバイルバンキングサービス (個人IB)>

サービスの種類		平日	休日
残高照会、取引照会		1:00~23:00	
振込振替	当日扱い (注1)	01:00~15:00	
	予約扱い	01:00~23:00	
税金・各種料金払込		07:00~21:00	

(注1) 平日1:00~8:30に受付した他行宛振込は、同日8:30より他行へ発信いたします。

●システムメンテナンスのためサービスを停止することがあります。

② 各種手数料の一部改定および新設 (平成30年10月) 📣 ※赤字部分を改定および新設

<改定した手数料>

(1) 振込手数料

項目		自店宛	本支店	他行宛
ATM	現金	3万円未満	108円	540円
		3万円以上	324円	756円
	他行キャッシュカード	3万円未満	108円	540円
		3万円以上	324円	756円

(2) 発行手数料

項目	単位	金額
当座小切手帳	1冊(50枚)	1,080円
手形帳 (約束手形・為替手形)	1冊(50枚)	1,080円
当行制定外帳票での証明書	残高証明書 (監査法人書式)	1通 3,240円
	上記以外の証明書	1,080円

<新設した手数料>

(1) 硬貨入金手数料

硬貨入金 手数料	取扱枚数	金額
	1枚~ 500枚	無料
	501枚~1,000枚	324円
	1,001枚~2,000枚	648円
	2,001枚~3,000枚	972円
以降1,000枚ごと		324円追加

(2) 金種払い手数料

金種払い 手数料	取扱枚数	金額
	1枚~ 50枚	無料
	51枚~ 500枚	324円
	501枚~1,000枚	540円
	1,001枚以上	1,080円
以降1,000枚ごと		540円追加

③ 「全銀システムの稼働時間拡大」に伴う対象サービスの拡大 (平成30年10月) 🔄

●「当日払いの振込」の取扱時間拡大

※取扱時間帯による振込手数料の増減はありません。

(1) 当行からの振込

<ATM>

「当日払いの振込」の取扱		取扱時間
平日	本支店宛 (※1)	7:00~21:00
	他行宛	
土・日・祝日	本支店宛 (※1)	8:00~21:00
	他行宛	

<インターネット・モバイルバンキングサービス (個人IB)>

「当日払いの振込」の取扱		取扱時間
平日	本支店宛 (※1)	1:00~23:00
	他行宛	
土・日・祝日	本支店宛 (※1)	(※2)
	他行宛	

<法人インターネットバンキングサービス (法人IB)>

「当日払いの振込」の取扱		取扱時間
平日	本支店宛 (※1)	1:00~23:00
	他行宛	
土・日・祝日	本支店宛 (※1)	(※2)
	他行宛	

(2) 他行から当行口座へのお振込

当行本支店の普通預金・貯蓄預金あての振込が対象となります。平日、土・日・祝日ともに1時~23時まで、振込資金を「当日払いの振込」として入金いたします。

ただし、当行の当座預金への「当日払いの振込」は平日8時30分~15時までといたします。

※1 当行の当座預金の「当日払いの振込」の取扱は平日15時までとなります。なお、平日15時以降および土・日・祝日の当行の当座預金への振込および当座預金からの支払いは、従来通り翌営業日以降のお取扱となります。

※2 平日1時~8時30分に受付した他行宛振込は、原則即時発信いたします。ただし、振込先の金融機関および口座状況等により、同日8時30分から発信する場合があります。平日15時以降および土・日・祝日に受付した他行振込は、振込先の金融機関および口座状況等により、「当日払いの振込」とならない場合があります。

①、②、③の詳細につきましては、当行ホームページ及び当行営業店にてご確認ください。

地域への各種支援活動の状況

当行は、銀行業務を通じた地域経済への貢献のほか、地域社会の一員として地域の発展を願い、さまざまな社会貢献活動を積極的に展開しております。

地域行事への積極参加

地域社会の一員として地域のさまざまなイベントに役職員が積極的に参加しており、地域の皆さまとのふれあいを大切にしております。



第3回 くるめ衆衆国まつり (平成30年4月)



第57回 博多どんたく港まつり (平成30年5月)



第10回 久留米まちゼミ (平成30年6月)



第47回 水の祭典久留米まつり (平成30年8月)



第5回 久留米まちゼミKids (平成30年8月)



第14回 久留米まち旅博覧会 (平成30年10月)

「小さな親切運動」の推進

くるめ「小さな親切」運動の会を、昭和58年7月の同会の発足以来、支援しております。全役職員が会員となり環境保全や美化運動、イベントなどに積極的に参加するとともに、当行内に事務局を設置しており、明るく住み良い街づくりの推進に取り組んでおります。



都心部道路美化キャンペーン (平成30年6月)



筑後川河川美化ノーボイ運動 (平成30年10月)

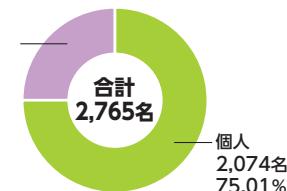
株式の状況

(平成30年9月30日現在)

発行済株式の総数 6,249,020株
株主数 2,765名

株式の所有者別分布状況

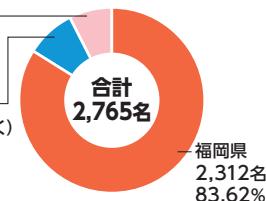
法人 691名
24.99%



株主の地域別分布状況

その他 220名
7.95%

九州・沖縄 (福岡県を除く) 233名
8.43%



株式のご案内

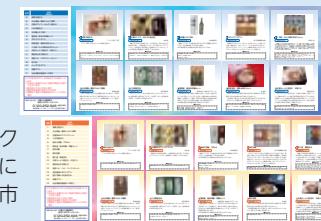
1. 事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	6. 同 連 絡 先	日本証券代行株式会社 代理人部 TEL 0120-707-843 (フリーダイヤル)
2. 期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日	(郵 送 先)	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
3. 中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日	7. 上 場 証 券 取 引 所	日本証券代行株式会社 代理人部 証券会員制法人 福岡証券取引所
4. 定 時 株 主 総 会	毎決算日後3か月以内に開催	8. 公 告 方 法	電子公告 ただし、電子公告をすることができない場合は福岡市で発行する西日本新聞に掲載
5. 株 主 名 簿 管 理 人	日本証券代行株式会社		
	特別口座の口座管理機関		

(ご案内)

- 配当金のお受取りは、当行本支店の預金口座振込をご指定いただきますと、早くて便利です。
- 株主様の住所変更、買取請求、配当金受取の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(日本証券代行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(日本証券代行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店でお支払いいたしますのでお申し出ください。

株主優待制度のご案内

「株主優待制度」は、株主の皆さまからの日頃のご支援・ご愛顧にお応えするとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々へ長期間保有していただくことを目的として実施しております。所有株式数100株(1単元)以上保有する株主さまに対し、当行オリジナルギフトカードを贈呈し、さらに保有期間12ヶ月以上の株主さまには保有株式数に応じて、当行オリジナル株主優待カタログから地元(福岡県、鳥栖市、日田市など)の特産品等をお選びいただけます。

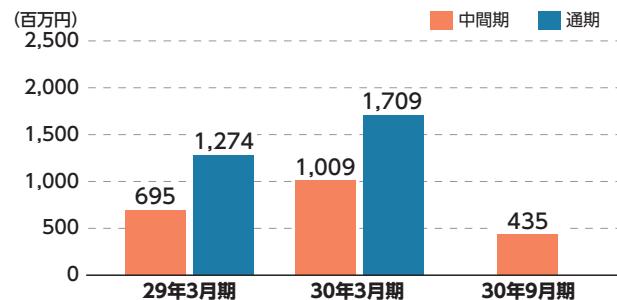


業績ハイライト

経常利益

経常利益は、有価証券の売却益が増加したものの、不良債権の処理費用が増加したことなどから、前年同期比5億74百万円減益の4億35百万円となりました。

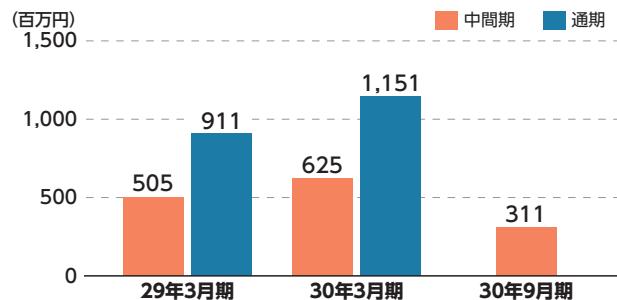
経常利益(単体)



中間(当期)純利益

中間純利益は、経常利益が減益となったことなどから、前年同期比3億14百万円減益の3億11百万円となりました。

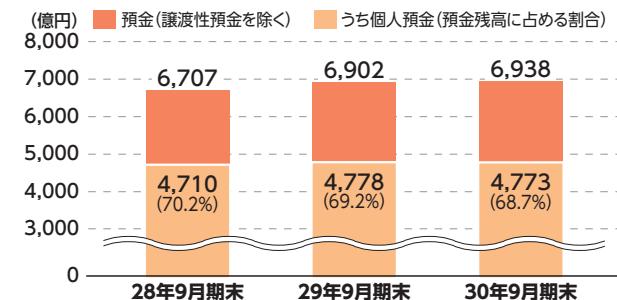
中間(当期)純利益(単体)



預金

預金は、法人預金が増加したことなどから、前年同期末比36億円増加の6,938億円となりました。

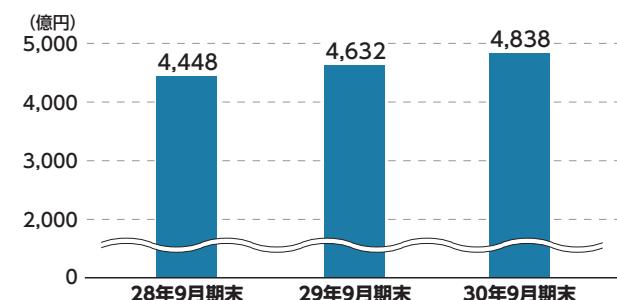
預金残高の推移(単体)



貸出金

貸出金は、地元の中小・中堅企業や個人事業主を中心とした取引の拡大や、住宅ローンをはじめとした個人のお客様の資金ニーズにお応えするなど積極的な営業活動に努めた結果、中小企業等向けの貸出金が増加したことなどから、前年同期末比205億円増加の4,838億円となりました。

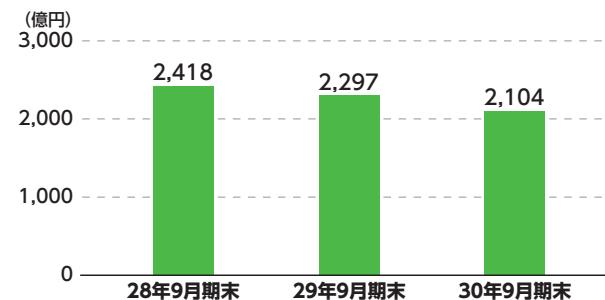
貸出金残高の推移(単体)



有価証券

有価証券は、短期・中期の国債金利がマイナスとなっている投資環境が続いており、国債や投資信託が減少したことなどから、前年同期末比193億円減少の2,104億円となりました。

有価証券残高の推移(単体)

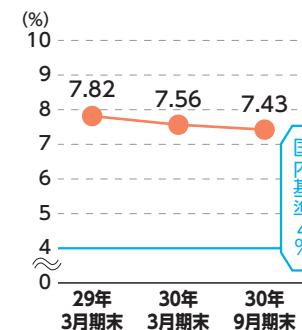


自己資本比率

7.43%

国内基準(4%以上)を大きく上回っています。

自己資本比率(単体)



平成30年9月期末の自己資本比率は、前期末比0.13ポイント低下の7.43%となり、最低所要自己資本比率(国内基準)の4%を十分に上回る水準を維持しています。また、資本金や利益剰余金などの普通株式に係る株主資本の額が自己資本の額のほとんどを占めており、質の高さを維持しています。

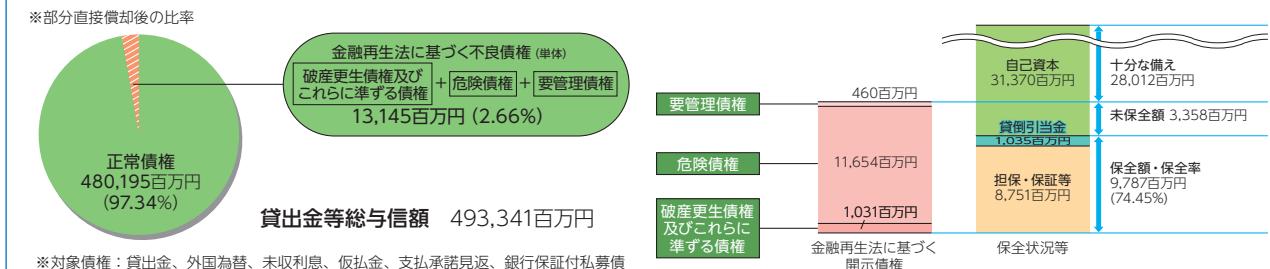
不良債権比率

2.66% ※

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額4,933億41百万円のうち回収に懸念のない正常債権4,801億95百万円であり、総与信額の97.34%を占めております。

一方、不良債権は131億45百万円(総与信の2.66%)となり、前年同期末の136億53百万円(総与信の2.88%)と比べ5億8百万円減少しました。また、この不良債権の74.45%(97億87百万円)は、担保・保証等の引当金で保全されています。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底し、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。

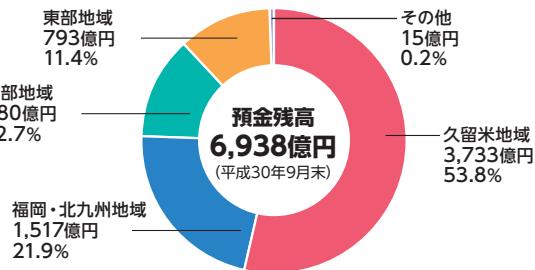


業績ハイライト

皆さまとお取引状況(預金・預り資産)

地域別預金残高、構成比率

当行は、地域に根差した金融機関として、設立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は順調に増加しております。今後もお客様のニーズに対応した魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。

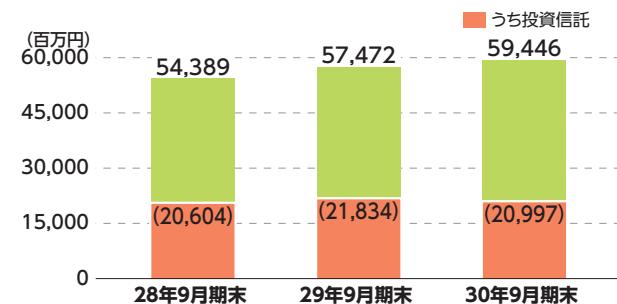


個人預り資産残高

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は、前年同期末比19億74百万円増加して594億46百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、生命保険、外貨預金、公共債の合計

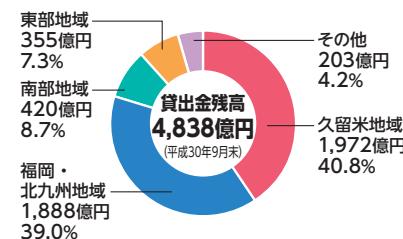
個人預り資産残高の推移



皆さまとお取引状況(融資)

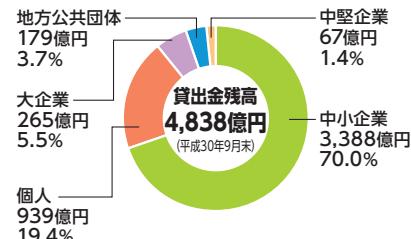
地域別貸出金残高、構成比率

当行が地域のお客様からお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行設立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。



中小企業等貸出金残高、構成比率

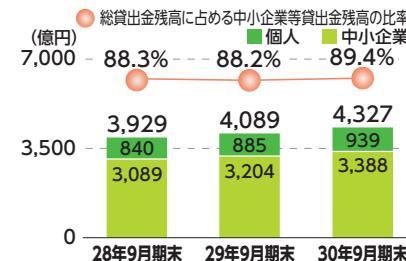
当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心に貸出を行っております。今後もお客様のニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方に対する貸出金の残高は、前年同期末比237億円増加し、4,327億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、89.4% (中小企業70.0%、個人19.4%) と引き続き高い割合を維持しております。

中小企業等貸出金残高、比率の推移



財務のご報告 (単体)

第95期中 中間貸借対照表 (単位：百万円)

(平成30年9月30日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	77,435	預金	693,881
買入金銭債権	448	譲渡性預金	12,577
商品有価証券	146	借入金	34,000
有価証券	210,451	その他負債	3,900
貸出金	483,804	未払法人税等	337
外国為替	925	リース債務	218
その他資産	4,630	資産除去債務	59
有形固定資産	8,944	その他の負債	3,285
無形固定資産	50	退職給付引当金	418
前払年金費用	438	偶発損失引当金	138
支払承諾見返	9,290	繰延税金負債	1,244
貸倒引当金	△1,821	再評価に係る繰延税金負債	1,063
資産の部合計	794,745	支払承諾	9,290
		負債の部合計	756,515
		(純資産の部)	
		資本金	8,000
		資本剰余金	5,759
		資本準備金	5,759
		利益剰余金	16,659
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	13,934
		別途積立金	7,400
		繰越利益剰余金	6,534
		△364	
		自己株式	
		株主資本合計	30,053
		その他の有価証券評価差額金	5,988
		土地再評価差額金	1,985
		評価・換算差額等合計	7,973
		新株予約権	202
		純資産の部合計	38,230
		負債及び純資産の部合計	794,745

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第95期中 中間損益計算書 (単位：百万円)

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

科目	金額
経常収益	
資金運用収益	4,266
(うち貸出金利息)	(3,374)
(うち有価証券利息配当金)	(829)
役員取引等収益	877
その他業務収益	406
その他経常収益	580
経常費用	5,695
資金調達費用	73
(うち預金利息)	(66)
役員取引等費用	573
その他業務費用	8
営業経費	4,231
その他経常費用	808
経常利益	435
特別利益	24
特別損失	31
税引前中間純利益	428
法人税、住民税及び事業税	355
法人税等調整額	△238
法人税等合計	116
中間純利益	311

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第95期中 中間株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	株主資本							評価・換算差額等				株主資本合計	純資産計	
	資本金	資本準備金	資本剰余金	利益準備金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	新株予約権			
当期首残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	6,117	16,241	△364	29,636	6,314	2,244	8,559	161	38,357
当中間期変動額														
剰余金の配当						△152	△152		△152					△152
中間純利益						311	311		311					311
自己株式の取得								△0	△0					△0
土地再評価差額金の取崩						258	258		258					258
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)										△326	△258	△585	41	△543
当中間期変動額合計						417	417	△0	416	△326	△258	△585	41	△126
当中間期末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	6,534	16,659	△364	30,053	5,988	1,985	7,973	202	38,230

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

表紙について (九州国立博物館・福岡県太宰府市)

福岡県太宰府市は、福岡県の中部に位置し、「学問の神」と崇められる菅原道真公を祀った「太宰府天満宮」がある観光都市です。その太宰府天満宮の隣に位置するのが「九州国立博物館」です。東京、奈良、京都に次ぐ4番目の国立博物館として、平成17年10月に開館しました。

大宰府は、「遠の朝廷」とよばれた日本古代史上の一大舞台であり、九州地方を統括する地であり、世界との交流の地でもありました。その太宰府の歴史的な環境の中で、「九州百年の夢」と言われた九州国立博物館の設置は、長年にわたる地域市民や各方面の方々による熱心な誘致活動が盛んに行われ、実を結んだものでした。

九州国立博物館では、「文化交流展示室」と「特別展示室」にて展示を行っています。「文化交流展示室」は、5つの基本展示室および11の関連展示室で構成されており、日本とアジアとの文化交流の歴史を紹介しています。常に新鮮な展示になるよう、展示替えを行いながら常時800～900点を展示しています。期間限定で行う独創的な展示「特集展示」もあり、展示室をさらに華やかに彩っています。また、「特別展示



平成29年8月に入館者が1,500万人を突破し、博物館発展の弾みとなりました

室]では、年に数回様々なテーマで特別展を開催しており、その貴重な展示品と斬新な企画は、広く注目を集めています。

教育普及活動、ボランティア、国際交流、多彩なイベント等も活発に行われており、「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」というコンセプトのもと、「学校より面白く、教科書より分かり易い」という目標の実現に向かって今後も歩み続けます。

写真出所:九州国立博物館
出典:九州国立博物館ホームページ

株式会社 筑邦銀行 登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第5号
加入協会 日本証券業協会



筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)
<https://www.chikugin.co.jp/>

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

